

資料編について

1 概要

(1) コンセプト

基本方針のひとつである、「学術的研究を基に、新たな区史の編さんを行います」に基づき、今回の区史編さんで発掘された新たな資料を区民に還元するため、資料編を作成します。

「図や写真を多く用い、分かりやすく、読みやすい、身近に感じる区史」の基本方針のもとで通史編を執筆するなかで、通史編に掲載しきれない貴重な資料に関しては、資料編への掲載により、通史編を補うものとします。

(2) 巻数

2巻（平成29年度第1回港区史編さん委員会で決定）

1巻あたり500頁以内を想定

(3) 発行

①発行時期 平成35（2023）年3月 WEB公開、刊行
（平成29年度第1回港区史編さん委員会で決定）

②部 数 1,000部
（平成30年度第1回港区史編さん委員会で決定）

③判 型 A4 モノクロ（錦絵等については、口絵にてカラー掲載）
（平成30年度第2回港区史編さん委員会で決定予定）

④装 丁 ソフトカバー
（平成30年度第2回港区史編さん委員会で決定予定）

2 体制について

(1) 部会

本編の部会（自然・原始／古代・中世／近世／近代／現代）の監修者及び関係する執筆者が編さんの監修を行います。

翻刻（※）については、大学院生等のご紹介または事務局で実施いたします。

※翻刻とは…古文書を活字化すること。

(2) 翻刻資料の確認について

資料を選定した執筆者が確認します。

(3) 監修について

上記（2）の執筆者が所属する部会の監修者が監修します。

3 スケジュールについて（詳細は、資料3-2参照）

- ・自然～近世
 - 調査・掲載資料選別 : ～平成32年3月
 - 調査・選別予備期間 : 平成32年4月～9月
 - 翻刻資料確認・解題執筆 : 平成32年10月～平成33年12月
 - 部分監修 : 平成34年1～3月
- ・近代
 - 調査・掲載資料選別 : ～平成32年9月
 - 翻刻資料確認・解題執筆 : 平成32年10月～平成33年12月
 - 部分監修 : 平成34年1～3月
- ・現代 ※通史編と同様
 - 調査・掲載資料選別 : ～平成33年3月
 - 部分監修 : 平成33年4～9月
- ・共通業務
 - 翻刻作業 : 平成31年4月～平成33年3月
 - 翻刻作業予備期間 : 平成33年4～12月
 - 全体監修 : 平成34年4～6月
 - 刊行・Web公開 : 平成35年3月

4 構成について

通史編の構成を基本とし、時代別（遺跡・遺構については、考古でまとめます。）で構成する予定です。

基本構成		刊本形態
時代（分野）	各時代概算頁数	
考 古	100 頁程度	第9巻 A4 モノクロ 口絵カラー
古 代	50 頁程度	
中 世	40 頁程度	
近 世	460 頁程度	第10巻 A4 モノクロ 口絵カラー
近 代	300 頁程度	
現 代	50 頁程度	

5 今後の編さん委員会での主な決定事項

執筆要項（翻刻における文字の変換方法や図版掲載方法等、執筆にあたっての留意点）、時代（分野）別の構成、カバーデザイン